



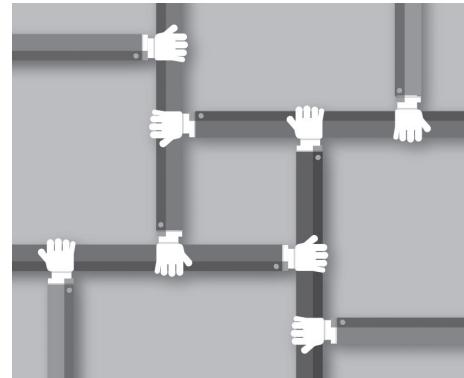
交付運用報告書

好循環社会促進日本株ファンド <愛称> みんなのチカラ

追加型投信／国内／株式

作成対象期間：2020年11月6日～2021年11月5日

第5期 決算日：2021年11月5日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、日本の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の安定的な成長を目指して運用を行います。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第5期末 2021.11.5

| | |
|---------|---------|
| 基準価額 | 16,412円 |
| 純資産総額 | 239百万円 |
| 騰落率* | 25.6% |
| 期中分配金合計 | 0円 |

* 謄落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>

にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

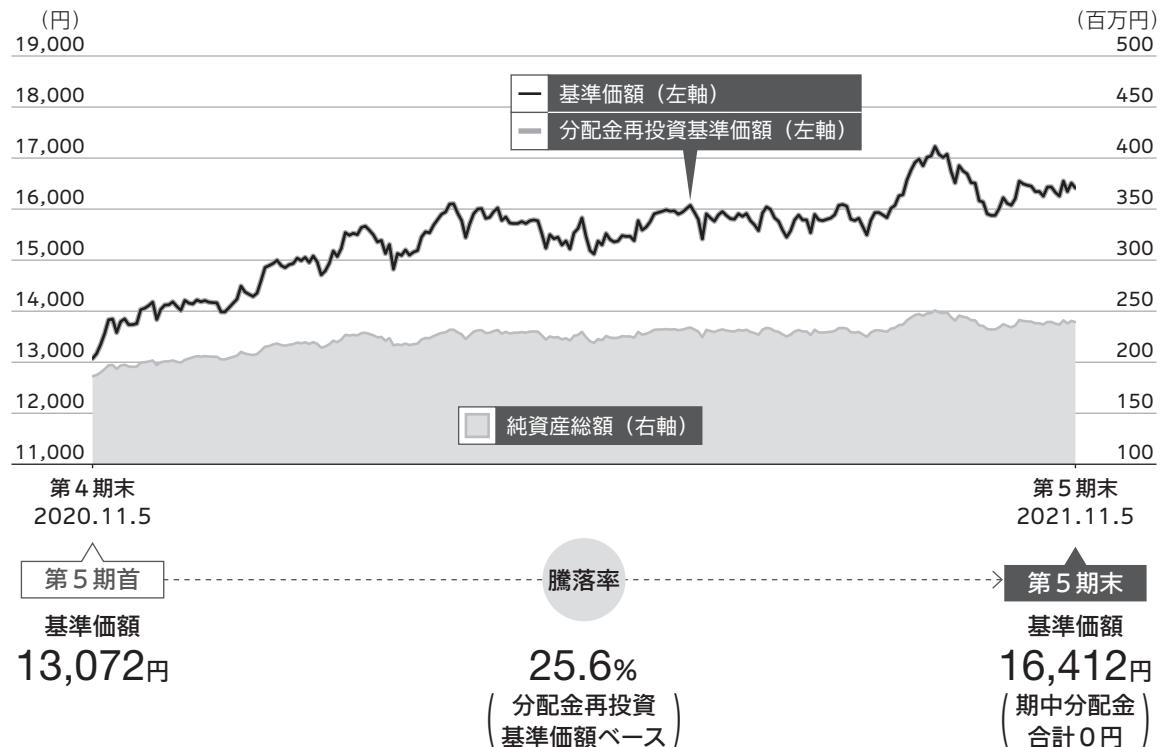


0120-69-5432

運用経過

● 基準価額の推移

基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2020年11月5日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として、わが国の株式の中から、「好循環経済の実現」に貢献すると期待される企業へ投資するファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

好循環社会促進日本株ファンド

高位に組入れていたマザーファンドの基準価額が上昇したため、当ファンドの基準価額も上昇しました。

好循環社会促進日本株マザーファンド

期中の騰落率は+27.4%となりました。

国内株式市場が上昇する中、期を通じて株式を高位に組入れていたマザーファンドの基準価額も上昇しました。個別銘柄では、デンソー、セブン＆アイ・ホールディングス、ブリヂストンなどの保有銘柄が上昇したことで基準価額は上昇しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

| 項目 | 第5期 2020.11.6~2021.11.5 | | 項目の概要 |
|-------------|----------------------------|---------|---|
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 191円 | 1.243% | (a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は15,379円です。 |
| (投信会社) | (85) | (0.550) | ファンドの運用の対価 |
| (販売会社) | (102) | (0.660) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| (受託会社) | (5) | (0.033) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 6 | 0.041 | (b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (株式) | (6) | (0.041) | |
| (c) その他費用 | 2 | 0.015 | (c) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ |
| (監査費用) | (2) | (0.015) | 監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| (その他) | (0) | (0.000) | 信託事務の処理にかかるその他の費用等 |
| 合計 | 199 | 1.299 | |

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

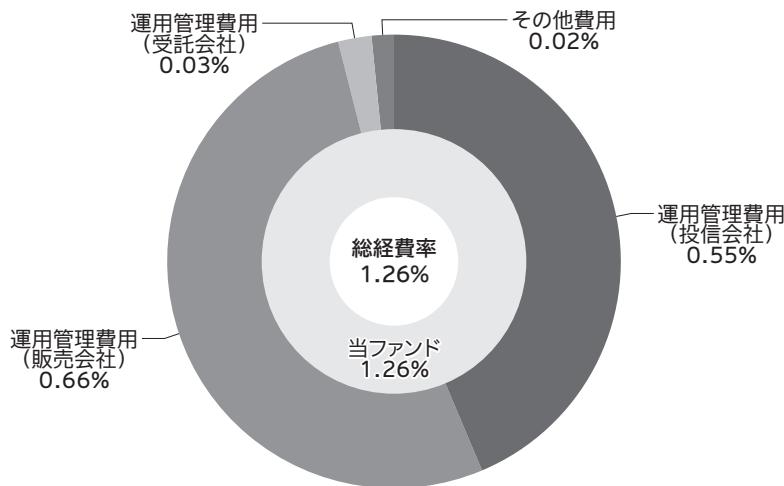
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.26%です。



1万口当たりの費用明細

- 注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- 注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- 注3. 各比率は、年率換算した値です。
- 注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
- 注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移 2016.10.25～2021.11.5



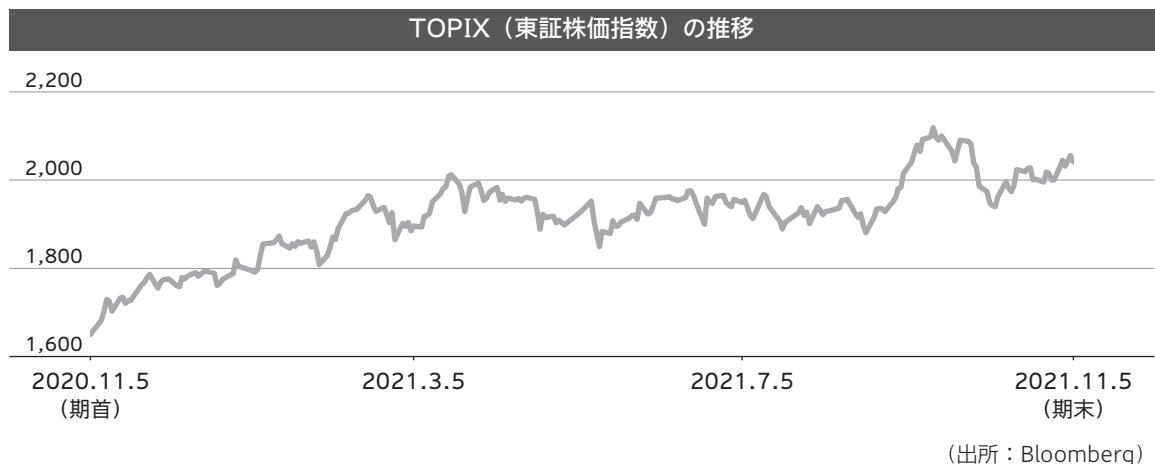
- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として、わが国の株式の中から、「好循環経済の実現」に貢献すると期待される企業へ投資するファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

| 決算日 | 2016.10.25 設定時 | 2017.11.6 決算日 | 2018.11.5 決算日 | 2019.11.5 決算日 | 2020.11.5 決算日 | 2021.11.5 決算日 |
|--------------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 基準価額 (円) | 10,000 | 12,377 | 11,895 | 13,023 | 13,072 | 16,412 |
| 期中分配金合計（税引前）(円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資 基準価額騰落率 (%) | — | 23.8 | △ 3.9 | 9.5 | 0.4 | 25.6 |
| 純資産総額 (百万円) | 100 | 138 | 157 | 178 | 186 | 239 |

● 投資環境

TOPIXは23.7%の上昇となりました。

期初は、米国大統領選挙においてバイデン氏の当選が確実となり、米国政治の先行き不透明感が後退したことや、新型コロナワイルスワクチンの開発が進み経済正常化への期待が高まったことが好感され、上昇しました。2021年の年明けには、米国で民主党が上下両院において過半数を獲得したことや、国内外企業の好調な決算発表が好感されて株価は継伸しました。その後は、ワクチン接種の進展を背景とした経済正常化への期待と新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念が繩引きする一進一退の展開となり、ほぼ横ばいで推移する期間が長く継続しました。期末にかけては、新首相誕生への期待感からバブル期以来の高値水準まで上昇しましたが、原油などの高騰や米国長期金利の上昇などを背景に上げ幅は縮小しました。



● 当該投資信託のポートフォリオ

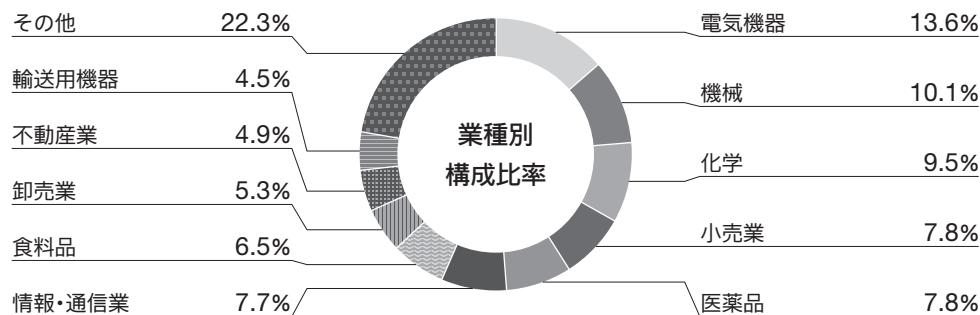
期を通して好循環社会促進日本株マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。

好循環社会促進日本株マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。

期末時点での業種別構成比率はグラフのとおりです。

当期間中は、働き方改革への取り組みや付加価値創出力に加え、投資魅力度の両面からの分析により銘柄入れ替えを行いました。日本電産、ダイキン工業、H O Y A、シスメックスを売却した一方で、S C S K、スタンレー電気、ピジョン、不二製油グループ本社を購入しました。



注1. 比率は、第5期末における国内株式の評価総額に対する各業種の評価額の割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として、わが国の株式の中から、「好循環経済の実現」に貢献すると期待される企業へ投資するファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指標等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標は記載しておりません。

● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益については、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

| 項目 | 第5期 2020.11.6～2021.11.5 |
|-----------|----------------------------|
| 当期分配金 | — |
| (対基準価額比率) | — % |
| 当期の収益 | — |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 6,412 |

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

● 今後の運用方針

好循環社会促進日本株ファンド

今後も、マザーファンド受益証券の組入水準を高位に維持することで、信託財産の着実な成長を目指します。

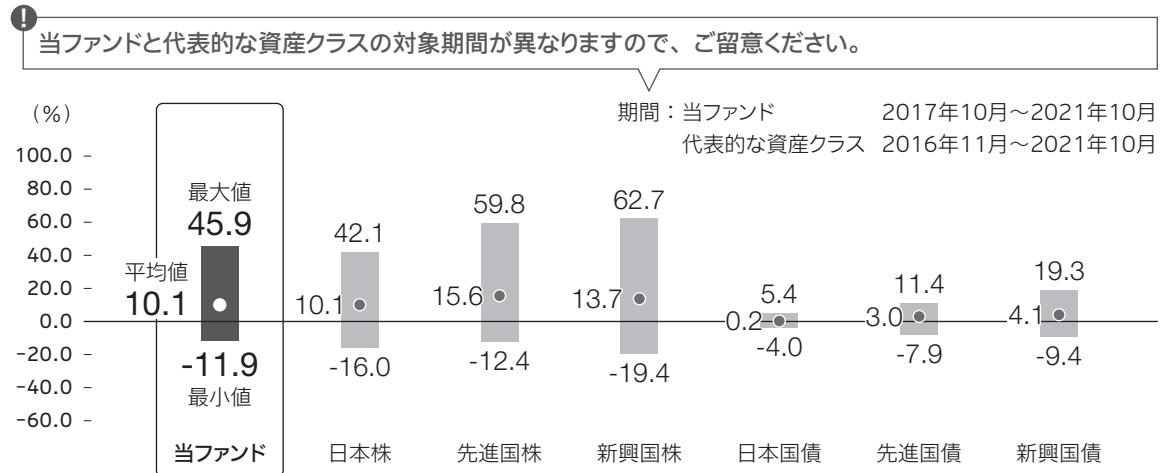
好循環社会促進日本株マザーファンド

当ファンドは企業の「働き方の改革」への取り組みと「付加価値創出力」に着目し、投資銘柄を厳選しており、今後もこの運用方針を堅持します。少子高齢化・人口減少が進行する日本においては、成長制約打破のため労働力人口の確保が不可欠となっており、人的資本の有効活用が企業の競争優位性に直結する時代となっています。今後も、日本経済の長期的な課題である人的資本の活用力に優れ、好循環経済の実現に貢献すると期待される企業への投資を通じて、信託財産の安定的な成長を目指します。

● 当該投資信託の概要

| | |
|--------|--|
| 商品分類 | 追加型投信／国内／株式 |
| 信託期間 | 無期限 |
| 運用方針 | 信託財産の安定的な成長を目指して運用を行います。 |
| 主要投資対象 |  好循環社会促進日本株ファンド 好循環社会促進日本株マザーファンド受益証券  好循環社会促進日本株マザーファンド わが国の株式 |
| 運用方法 | ① わが国の経済における長期的な課題である「人的資本の活用力」に優れた企業への投資を通じて、好循環経済の実現に貢献するとともに、信託財産の安定的な成長を目指します。 ② 投資対象となる「人的資本の活用力」に優れる企業は、企業の「働き方の改革」への取り組みと「付加価値創出力」に着目し、厳選します。 ③ ポートフォリオの構築にあたっては、当社アナリストの個別企業リサーチをもとに、組入銘柄およびウェイト配分を決定します。 |
| 分配方針 | 毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 |

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- * 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。
- * 各資産クラスの指標

| | |
|------|---------------------------------------|
| 日本株 | 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) |
| 先進国株 | MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース) |
| 新興国株 | MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース) |
| 日本国債 | NOMURA-BPI国債 |
| 先進国債 | FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) |
| 新興国債 | JPモルガンGBI-EMグローバル・デイバーシファイド (円ベース) |

※ 海外の指標は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指標に関しての詳細は15～16ページをご参照ください。▶

当該投資信託のデータ

● 当該投資信託の組入資産の内容

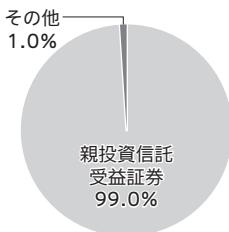
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

| 第5期末 2021.11.5 | |
|-------------------|-------|
| 好循環社会促進日本株マザーファンド | 99.0% |

注. 比率は第5期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第5期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

| 項目 | 第5期末 2021.11.5 |
|------------|-------------------|
| 純資産総額 | 239,200,569円 |
| 受益権総口数 | 145,743,376口 |
| 1万口当たり基準価額 | 16,412円 |

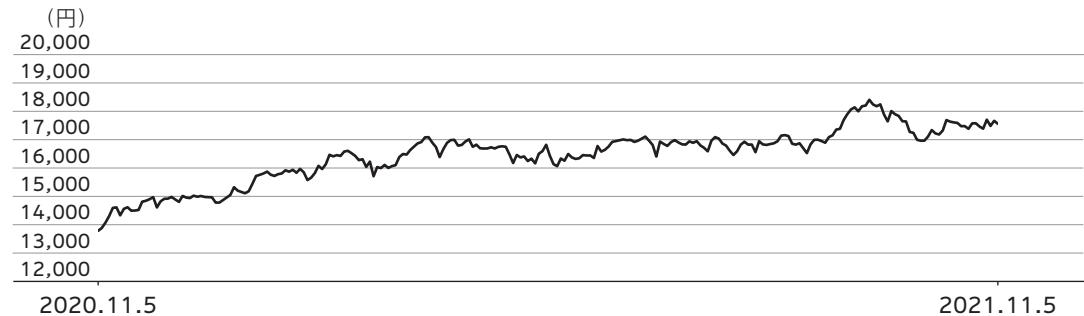
※ 当期中における追加設定元本額は11,248,652円、同解約元本額は8,016,576円です。

● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

好循環社会促進日本株マザーファンド

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

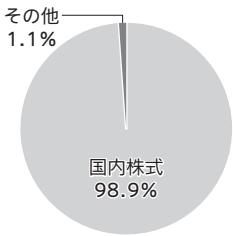
| 項目 | 2020.11.6～2021.11.5 | |
|---------|---------------------|---------|
| | 金額 | 比率 |
| 売買委託手数料 | 7円 | 0.041% |
| (株式) | (7) | (0.041) |
| その他費用 | 0 | 0.000 |
| (その他) | (0) | (0.000) |
| 合計 | 7 | 0.041 |

期中の平均基準価額は16,350円です。

組入上位10銘柄

| 銘柄名 | 業種/種別等 | 通貨 | 国(地域) | 比率 |
|-------------------|--------|------|-------|------|
| 1 KDDI | 情報・通信業 | 日本円 | 日本 | 6.0% |
| 2 デンソー | 輸送用機器 | 日本円 | 日本 | 4.5% |
| 3 村田製作所 | 電気機器 | 日本円 | 日本 | 4.3% |
| 4 東京海上ホールディングス | 保険業 | 日本円 | 日本 | 4.3% |
| 5 ファナック | 電気機器 | 日本円 | 日本 | 3.8% |
| 6 伊藤忠商事 | 卸売業 | 日本円 | 日本 | 3.7% |
| 7 セブン＆アイ・ホールディングス | 小売業 | 日本円 | 日本 | 3.6% |
| 8 小松製作所 | 機械 | 日本円 | 日本 | 3.5% |
| 9 アステラス製薬 | 医薬品 | 日本円 | 日本 | 3.5% |
| 10 ブリヂストン | ゴム製品 | 日本円 | 日本 | 3.2% |
| 組入銘柄数 | | 39銘柄 | | |

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入しております。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2021年11月5日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数について

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ NOMURA-BPI国債

野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

好循環社会促進日本株ファンド

検索 

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0978/price.html>



The screenshot shows the SOMPO Asset Management website. The top navigation bar includes links for ENGLISH, SOMPO Holdings (with a QR code), and search functions. The main menu has categories like Home, Fund Information, Market & Fund Report, Our Business, and About Us. The main content area is titled '好循環社会促進日本株ファンド (愛称 みんなのチカラ)' and includes a Japanese Economic News headline. It lists documents such as '交付目論見書 (2021.08.04)', '請求目論見書 (2021.08.04)', '交付運用報告書 (2020.11.05)', '運用報告書 (全休版) (2020.11.05)', and '最新月次レポート (2021.10.29)'. A 'バックナンバー' (Back Issues) link is also present.

各書類の最新版をご確認いただけます。



交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。



交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。



請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。



運用報告書 (全体版)

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。



最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。